

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公開番号】特開2013-29944(P2013-29944A)

【公開日】平成25年2月7日(2013.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-007

【出願番号】特願2011-164922(P2011-164922)

【国際特許分類】

G 08 B 27/00 (2006.01)

G 08 B 21/10 (2006.01)

G 08 B 17/00 (2006.01)

H 04 H 20/02 (2008.01)

H 04 H 20/59 (2008.01)

H 04 H 60/42 (2008.01)

H 04 H 20/61 (2008.01)

【F I】

G 08 B 27/00 C

G 08 B 21/10

G 08 B 17/00 C

H 04 H 20/02

H 04 H 20/59

H 04 H 60/42

H 04 H 20/61

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月25日(2014.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

親局と端末との間で防災信号を送受信する地域防災無線設備と、

監視領域の異状を検知した場合に警報を報知出力する警報器と、

通信プロトコルの異なる前記地域防災無線設備の信号と前記警報器の信号との間を中継する中継アダプタと、

を設け、前記地域防災設備からの緊急情報通報信号を、前記中継アダプタを経由して前記警報器に送信して当該当該緊急情報通報信号に対応する防災情報を報知出力し、前記警報器からの異状連携信号を、前記中継アダプタを経由して前記地域防災無線設備に送信して当該異状連携信号に対応する異状情報を報知出力することを特徴とする防災警報連携システム。

【請求項2】

請求項1記載の防災警報連携システムに於いて、

前記地域防災無線設備は、所定の第1通信プロトコルに従った緊急情報通報信号を送信し、

前記中継アダプタは、屋外に設置され、前記地域防災無線設備から前記第1通信プロトコルに従った前記緊急情報通報信号を受信した場合に、所定の第2通信プロトコルに従つ

た前記緊急情報通報信号に基づく緊急情報連動信号に変換して送信し、

前記警報器は、屋内に設置され、前記中継アダプタから前記第2通信プロトコルに従った前記緊急情報連動信号を受信した場合に、当該緊急情報連動信号に対応する防災情報を報知出力する、

ことを特徴とする防災警報連携システム。

【請求項3】

請求項1記載の防災警報連携システムに於いて、

前記警報器は、屋内に設置され、監視領域の異状を検知した場合に警報を報知出力すると共に、前記中継アダプタに所定の第2通信プロトコルに従った異状連携信号を送信し、

前記中継アダプタは、屋外に設置され、前記警報器から前記第2通信プロトコルに従った前記異状連携信号を受信した場合に、所定の第1通信プロトコルに従った前記異常連携信号に変換して前記地域防災無線設備へ送信し、

前記地域防災無線設備は、前記中継アダプタから所定の第1通信プロトコルに従った異状連携信号を受信した場合に、当該異状連携信号に対応した異状情報を報知出力する、ことを特徴とする防災警報連携システム。

【請求項4】

請求項1記載の防災警報連携システムに於いて、

前記中継アダプタは、

前記地域防災無線設備との間で第1通信プロトコルに従った信号を送受信する第1通信部と、

前記警報器との間で第2通信プロトコルに従った信号を送受信する第2通信部と、

前記第1通信部により受信された前記地域防災無線設備からの前記第1通信プロトコルに従った前記緊急情報通報信号を検知した場合に、所定の第2通信プロトコルに従ったグループ指定なしの緊急情報連動信号に変換して前記警報器へ送信させると共に、前記第2通信部により受信された前記警報器からの前記第2通信プロトコルに従った前記異状連携信号を検知した場合に、前記第1通信プロトコルに従った異状連携信号に変換して前記第1通信部により前記地域防災無線設備へ送信する中継制御部と、
を備えたことを特徴とする防災警報連携システム。

【請求項5】

請求項3又は4記載の防災警報連携システムに於いて、

前記警報器は、

前記第2通信プロトコルに従って前記中継アダプタとの間で信号を受信すると共に他の警報器との間で信号を送受信する第2通信部と、

前記防災情報を報知する報知部と、

前記第2通信部により受信された信号から前記緊急情報通報信号に基づくグループ指定なしの連動信号を検知した場合に、前記報知部に当該緊急情報通報信号に対応する防災情報を報知出力させ、異状を検知した場合に、警報を報知出力すると共に、自己の属するグループを指定した異状連動信号を生成して前記第2通信部により他の住警器へ送信し、更に前記地域防災無線設備を指定した異状連携信号を生成して前記第2通信部により前記中継アダプタへ送信する警報制御部と、
を備えたことを特徴とする防災警報連携システム。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれかに記載の防災警報連携システムに於いて、前記緊急情報通報信号は、緊急地震速報通報信号、緊急警報通報信号或いは津波警報通報信号であり、前記緊急情報連動信号は、緊急地震速報連動報信号、緊急警報連動信号或いは津波警報連動信号であることを特徴とする防災警報連携システム。

【請求項 7】

請求項 1 記載の防災警報連携システムに於いて、

前記地域防災無線設備は、マイクから入力した音声信号に、音声周波数帯域の搬送波信号を所定の緊急情報制御データ信号によりデジタル変調して混合し、当該混合音声信号を所定の第1通信プロトコルに従った防災信号に変換して送信し、

前記中継アダプタは、前記地域防災無線設備から前記第1通信プロトコルに従った前記防災信号を受信した場合に、当該防災信号から前記緊急情報制御データ信号を復調し、所定の第2通信プロトコルに従った前記緊急情報制御データ信号に基づく連動信号に変換して送信し、

前記警報器は、前記中継アダプタから前記第2通信プロトコルに従った前記緊急情報制御データ信号に基づく連動信号を受信した場合に、当該連動信号に対応する防災情報を報知出力する警報器と、

を備えたことを特徴とする防災警報連携システム。

【請求項 8】

請求項 7 記載の防災警報連携システムに於いて、前記緊急情報制御データ信号は、緊急地震速報制御データ信号、緊急警報制御データ信号或いは津波警報制御データ信号であり、前記連動信号は、緊急地震速連動信号、緊急警報連動信号或いは津波警報連動信号であることを特徴とする防災警報連携システム。

【請求項 9】

請求項 1 記載の防災警報連携システムに於いて、

前記地域防災無線設備は、マイクから入力した音声信号に、音声周波数帯域の搬送波信号を所定の緊急情報制御信号によりアナログ変調して混合し、当該混合音声信号を所定の第1通信プロトコルに従った通報信号に変換して送信し、

前記警報器は、前記地域防災無線設備から前記第1通信プロトコルに従った前記通報信号を受信した場合に、当該通報信号から前記緊急情報制御信号を復調し、当該緊急情報制御信号に対応する防災情報を報知出力することを特徴とする防災警報連携システム。

【請求項 10】

監視領域の異状を検知した場合に警報する警報器に於いて、

地域防災無線設備の第1通信プロトコルに従った信号と所定の第2通信プロトコルに従った信号をプロトコル変換して送受信する中継アダプタ及び他の警報器との間で前記第2通信プロトコルに従って信号を送受信する第2通信部と、

前記防災情報を報知する報知部と、

前記第2通信部により受信された信号から前記地域防災無線設備からの緊急情報通報信号に基づくグループ指定なしの緊急情報連動信号を検知した場合に、前記報知部に当該緊急情報連動信号に対応する防災情報を報知出力させ、

異状を検知した場合に、警報を報知出力すると共に、自己の属するグループを指定した異状連動信号を生成して前記第2通信部により他の住警器へ送信し、更に前記地域防災無線設備を指定した異状連携信号を生成して前記第2通信部により前記中継アダプタへ送信する警報制御部と、

を備えたことを特徴とする警報器。